



営農サポート通信 第45号

平成27年11月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

水稻は加工用米を残すのみとなり、長かった甘藷の収穫作業は、来年度用種子の確保も始まっている頃だと思えます。これまでの収穫作業で疲労も蓄積していると思えますが、最後まで事故無く、良い実績になる事を願っております。

里芋疫病について

10月30日に県下の関係者が集まり、里芋の疫病対策全体研修会が開催されました。疫病は県内の85%で発生しており、収穫量は例年の7~5割に落ち込むのではとのことです。また、品質の低下もあり宮崎県産里芋が厳しい評価となっているとの報告を受けました。

以前、国にマイナー病害としての登録を打診しておりましたが、許可されなかったという事です。そのため、宮崎県単独で農薬登録試験を行うのは難しいので、被害が拡大している鹿児島県、愛媛県と共同で新規農薬登録試験を行うそうです。

県としては、来年もジーファイン水和剤による早めの防除しかないということでしたが、種子消毒の農薬変更や施肥に関する見直しを図り、年明けに新しいチラシを作成し配布するという事でした。

ごぼう病害虫対策

●ヒョウタンゾウムシ対策

圃場の畦畔、圃場周辺の草地は、作物がないときのヒョウタンゾウムシの生息場所および越冬場所になります。雑草を除草してください。雑草の中でも、特にオオバコを好むのではないかと考えられています。



オオバコ

〈除草適期〉作付前、ヒョウタンゾウムシ成虫が活動を始める3月頃の2回。

【薬剤防除】

は種後および不織布、ビニル除去後にトクチオン細粒剤 F で防除を行いましょう。トクチオン細粒剤 F は収穫30日前までの使用制限となりますので注意してください。ヒョウタンゾウムシに効果が期待できる液剤もありますので、指導員、営農サポーターにご相談ください。

- ・トクチオン細粒剤 F 使用時期：30日前まで 使用量：6kg

※減農薬栽培の場合は、農薬使用回数に注意してください。

●黒あざ病

今年の2月に新規登録された『ユニフォーム粒剤』です。やけ・しみ・あざによる品質劣化を防ぎ、秀品率の向上に貢献します。

(メーカー試験済み)

黒あざ病の被害が出る圃場で使用されてみてはいかがでしょうか。

【使用方法】

は種前に10a当り18kg(6袋)散布し土壌混和して下さい。



しょうが(根茎腐敗病)大根(白さび病)にも登録があります。

※価格については、支所経済課、指導員、営農サポーターにお問い合わせください。

※商品は注文になる場合があります。

平成27年産米

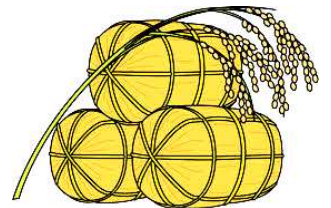
平成27年度産全国作況指数は100、作柄は平年並みです。九州7県の作況指数は、低温・日照不足により穂数が少ない状況で、補償作用により1穂当たりの粒数は多いものの96の「やや不良」。10a当たりの予想反収は平年を下回る484kgとなっています。

宮崎県の当地域(広域霧島)は、作況指数99で、粒数、登熟ともに「平年並み」。10a当たりの予想反収は528kgとなっています。(10月15日現在)

米検査状況(等級割合%)

11月17日現在

品 種	1 等	2 等	3 等	規格外
ヒノヒカリ	85.5	14.1	0.3	0.0
おてんとそだち	84.7	14.8	0.0	0.5
まいひかり	81.7	18.0	0.2	0.0



焼酎用原料甘藷

10月の出荷実績で、支所・圃場によって反収の差が大きくなっています。ここにきて、長雨、遅植えでの日照不足等の影響が出てきたのではないかと予想されます。

最終出荷はコガネセンガンが11月27日、ムラサキマサリが12月9日となっています。

〈10月コガネセンガン実績〉

単位:トン

支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)
姫城	147	2.85	梅北	130	3.07	山之口	60	2.41
五十市	331	2.87	安久	149	3.09	高城	228	3.01
祝吉	42.5	2.69	庄内	647	2.94	山田	1,040	2.99
沖水	75.5	2.85	西岳	0	0	高崎	448	3.54
志和池	99	2.27	三股	83	1.93			

※収量はフレコンバッグ(500kg)本数で計算しています。

コンテナ回収のお願い

加工用ほうれん草の出荷を控え、野菜出荷用のコンテナ(深型)が大変不足しています。

お手元にJA都城および垣内青果のコンテナがありましたら、ご連絡ください。



コンテナ 例

地域応援型 定期貯金 ひむか
プレミアムキャンペーン2015
 【キャンペーン期間】平成27年6月1日(月)~12月30日(水)

様々な特典をご用意しています。

お知り合いのJA職員、金融窓口にお気軽にご相談ください。

(文書取扱:JA都城 営農企画室) 事務所の電話番号は38-6693です

通信内容のご相談は営農サポーター:

までご連絡ください